

会 議 名	第2回港区産前産後家事・育児支援利用時間数管理システムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和7年3月3日（月曜日）午前10時00分から午前10時30分まで
開催場所	オンライン会議
委 員	子ども家庭支援部長 中島 博子（委員長） 子ども家庭支援部子ども家庭支援センター所長 石原 輝章（副委員長） みなと保健所健康推進課長 土井 重典（委員） 子ども家庭支援部子ども政策課長 西川 杉菜（委員） 欠席 児童相談所児童相談課長 中島 由美子（委員）
事 務 局	子ども家庭支援センター子ども家庭サービス係
会議次第	1 開会 2 第一次選考結果について 3 第二次選考について 4 閉会
配付資料	資料1 産前産後家事・育児支援利用時間数管理システムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考一次審査集計結果 資料2 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 資料3 産前産後家事・育児支援利用時間数管理システムの設計・開発及び運用・保守業務委託プロポーザル第二次審査の実施に関する留意事項（案） 資料4 第二次審査採点基準表（案） 資料5 第1回港区産前産後家事・育児支援利用時間数管理システムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考委員会会議議事録（案） 参考資料1 産前産後家事・育児支援利用時間数管理システムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者募集要項（各様式を含む。） 参考資料2 産前産後家事・育児支援利用時間数管理システムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考基準 参考資料3 仕様書（案）
会議の内容	
委員長	【1 開会】 ただいまから第2回港区産前産後家事・育児支援利用時間数管理システムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考委員会を開催する。 本日は、西川委員が欠席だが、1次審査の採点表は事前に提出してもらっている。 (事務局より配布資料の確認)

委員長 C 委員 E 委員 B 委員	【2 第一次選考結果について】 (事務局より資料 1 について説明) それぞれの委員が評価したポイントなどを順番に講評をお願いしたい。 総じて A 事業者を高く評価した。 画面も見やすいように配列されている。 様式 8 は、プライバシーマークや I SMS 認証の両方を取得しているので、セキュリティに関しては長けている事業者なのかと感じた。 様式 10 や任意様式を見ると、将来的に母子手帳アプリとの連携も視野に入れている。妊娠から出産直後、その後の子育て支援というところで、切れ目なく 1 つのアプリの中で支援できるといった今後の広がりというところにも期待が持てる。 求められる水準よりやや上ぐらいに満たされていると評価した。 特に良いと思ったのが、様式 10 に記載されている、制度改正などがあった場合に柔軟に対応できるところが具体的に示されていた点と、既存の母子保健サービスとの連携が可能であり、将来的にも期待できる点を高く評価した。一方で、少し心配なのが、様式 6 について、業務担当者が不在時のときの業務の継続性についての表記がなかったことや、業務の連携の部分について全体としてコミュニケーションが図れる体制という部分についてもう少し具体的に聞いてみたいと思った。 全体的には良い内容である。 私も全体的に高い評価をした。 他の自治体でも同様の取り組みをしている実績やノウハウを生かしながら、様式 7 にあるように、わかりやすいデザインや操作性というところでもかなり画面の視認性も高く、課題である区民の利便性や区の業務効率化に大きく寄与するようなシステムになっていると思う。 また、区民の方のアンケートもとれる機能もついているということで、今後事業の改善もしくは拡充していく際にかなり有効な手段になると思われる。 また、このシステムから申請手続きもできるという将来性もあるということで、そこも大きく期待している。 様式 10 で他事業への発展性というところで、母子保健サービスとの連携が可能だという点で、子ども子育ての切れ目ない支援が一元化できるとあるが、利用者からするとかなり大きなメリットになるのではないかと思う。そういった将来の発展性というところを大きく評価をした。
--	---

A委員	私は厳しい評価をした。 様式6のスケジュールについては4と評価しているが、その他については、今回1者しか参加がなかったので3という評価をした。全体的に見やすい資料になっており、利用時間の複雑な管理がクリアできるかと思うが、皆さんに比べて評価は低い。
事務局	欠席した委員から講評をいただいている。 資料全体の内容については、おおむね及第点であるという印象を受けた。 デザインや操作性については、視認性が高くてよいと感じたが、サポート体制については、資料に書き入れていない部分があるのか、職員に対する支援や区民対応について、十分な体制がとれるのか、若干不安が残った。 そのあたりについては、プレゼンで確認してみたい。
委員長	皆さんからの意見や確認したいことはあるか。
A委員	様式10に母子保健サービス等の連携とあるが、これはあくまでも将来的に連携していくということで、産前産後のサービスの予約とはまた別のものということでよいか。
B委員	産前産後の登録申請のことではないかと推測する。現在、LINEから登録申請できる。
A委員	登録申請ではなく、サービスの予約も出来れば一本化にならないか。
事務局	産前産後サービスの予約は、各事業者が電話、メール、インターネット等で受付しており、デジタル改革担当とも調整し、本システムで一元管理しようとは考えていない。
A委員	では、母子手帳アプリとの連携とは何か。
事務局	おそらく母子手帳アプリの中でメニューの一つに産前産後の時間管理という項目を作ってリンクするのではないかとと思われる。 また、LINEで登録申請をすると、決定通知の案内が他のLINEメッセージに埋もれてしまい、区民が気付かないことがある。本システムで登録申請を受け付けて、決定して、時間を付与するところまで一体化できれば、区民の利便性は向上する。
B委員	事業者に聞いたほうがいいのかもしれないが、産後ドゥーラの利用時間は家

	事支援の利用時間に包含されているが、個別に管理できるようになるのか。
事務局	提案書によると、産後ドゥーラの方から優先して使っていくような計算式にして、包括して時間数管理ができると記載されている。
委員長	改めて、ここで採点を変更する方はいるか。 (異議なし)
委員長	1 次審査の通過点は満点のうち 60%以上となっており、要件を満たしている。本事業者は 1 次審査通過となりますが、よろしいか。 (異議なし)
委員長	【3 第二次選考について】 (事務局より資料 2、資料 3、資料 4 について説明) 事務局案について意見がないようであれば提案とおりでよろしいか。 (異議なし) 【4 閉会】 (委員長より閉会の挨拶)